



平成18年度第3回新たな水道広域化推進事業調査委員会（3月19日）

議題①「モデル地域における定量化調査」、議題②「新たな水道広域化の手引き（仮称）骨子等」、議題③「新たな水道広域化促進策検討会」及び議題④「広域的水道整備計画及び水道整備基本構想の作成要領の見直し」について、それぞれ審議・報告をした。

第852回会誌編集委員会（3月19日）

本誌4月号、5月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱い並びに水道協会雑誌の編集企画について審議した。

第73回検査事業委員会（3月20日）

報告事項(1)第72回検査事業委員会議事録、(2)平成18年度公示検査の結果、(3)JIS登録認証の審査業務状況について逐次報告を行い、異議なく了承された。

また、議題(1)水道配水用ポリエチレン管及び水道配水用ポリエチレン管継手検査施行要項の改正について審議をし、異議なく了承された。

続いて、前回委員会に引き続いて、議題(2)検査証明書の取扱い、並びに検査制度の効率化について、検査施行要項等専門委員会委員長の宮内大阪市水道局配水担当課長より中間報告があり、検討した。なお、本議題については継続して審議することとなった。

最後に事務局より議題(3)ダクタイル鋳鉄直管のロット検査に係わる試行的運用の継続について提案し、異議なく了承された。



第16回水道 GLP 認定委員会（3月20日）

札幌市水道局、財団法人東海技術センター及び財団法人岐阜県公衆衛生検査センターの水道 GLP 認定について審議し、認定を決定した。

第217回衛生常設調査委員会（3月23日）

工務常設調査委員会から依頼された「水道用資機材に係わる浸出性試験等のあり方の検討について」の検討結果について、水道用塗料等に関する衛生性調査専門委員会から、コンディショニングを行うことによりその資機材のライフサイクル全般の浸出を代表的に捉えて評価し、浸出液がどのような水質試験機関においても同一の条件で採取等ができ、科学的に結果の評価や比較が行えるとともに、製品の使用実態を鑑み決められていると推察

されるなどの報告を受け、了承された。

次に、「日本の水道生物（写真と解説）」及び「上水試験方法2001」の改訂について審議し、検討の結果改訂を行うことが了承された。

第156回工務常設調査委員会（3月26日）

1. 規格の制定及び改正について

- 1) 水道施設に関する規格専門委員会において調査・検討してきた、水道用円形鉄蓋（JWWA B 132）及び水道用角形鉄蓋（JWWA B 133）にスリップ事故防止、蓋の飛散防止等の高機能をもつ鉄蓋も選択可能とする規格改正と JIS 規格改正に伴い水道用ポリウレタン被覆方法（JWWA K 151）、水道用ポリエチレン被覆方法（JWWA K 152）及び水道用ジョイントコート（JWWA K 153）の規格改正を決定した。
- 2) 給水装置に関する規格専門委員会において調査・検討してきた、水道用ステンレス製サドル付分水栓及び水道用ステンレス製ボール止水栓についての規格制定とこれに関連する水道用ステンレス鋼管・水道用ステンレス鋼管継手（JWWA G 115・JWWA G 116）の規格改正を決定した。

また、水道用サドル付分水栓（JWWA B 117）については、一部の材料に耐脱亜鉛黄銅材を使用できる規格改正を決定した。

2. 水道機械電気技術者のための実務マニュアル・ノウハウ集について

機械・電気・計装専門委員会において、水道の設備技術者の実務や研修等に活用することを目的として検討を行っていた「水道機械電気技術者のための実務マニュアル・ノウハウ集」が発刊されることを報告した。

次に、平成19～20年度の機械・電気・計装専門委員会における検討課題について、「水道設備における環境保全取組事例集（仮称）」を作成することを決定した。

第20回 IWA 日本国内委員会（3月26日）

報告事項として、①IWA の最近の動向、②第2回 IWA-ASPIRE 地域会議（パース）投稿論文の査読、③第1回アジア・太平洋水サミットのオープン・サミットプログラム案、④IWA-Bonn 憲章批准プログラムへの勧誘について報告した。審議事項として、①IWA アジア地区会議（シンガポール）報告、②2012年 IWA 世界会議の誘致進捗状況について審議を行った。その結果、12月のアジア地区会議で、IWA アジア地区事務所がシンガポールに設置されていることが報告された後、日本としては今後アジア地区事務所の独立性が保たれるよう見守っていくこととした。また、2012年 IWA 世界会議について、IWA 日本国内委員会が中心となって誘致立候補をすることとなり、申込み書類内容について検討し、修正後完成版を IWA 本部に提出することが承認された。

平成18年度水道 GLP 運営委員会（3月26日）

日本水道協会は、平成18年度水道 GLP 運営委員会（委員長 眞柄北海道大学特任教授）を開催し、水道 GLP 認定状況及びマネジメント・レビュー結果等について報告した。眞柄委員長から、外部審査員の活用方法について検討してはどうかとの意見等を受けた。

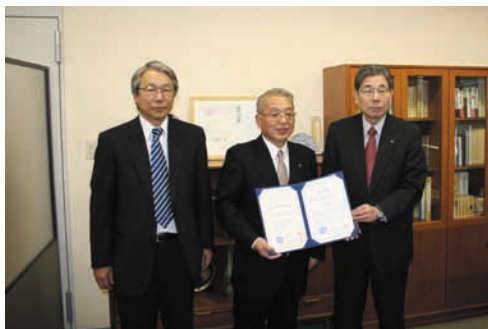


水道 GLP 認定証授与式

水道 GLP 認定委員会で認定が決定した下記の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会専務理事室において行った。



3月27日
札幌市水道局給水部水質試験所



4月12日
財団法人岐阜県公衆衛生検査センター

第37回国際委員会（3月27日）

研修国際部長の開催挨拶の後、報告事項①アジア・ゲートウェイ構想、②第2回 IWA-ASPIRE 地域会議（パース）投稿論文の査読、③第5回日米水道地震対策ワークショップについて報告があった後、審議事項①IWA アジア地区会議（シンガポール）、②2012年 IWA 世界会議の誘致進捗状況、③2011年 IWA-ASPIRE 地域会議の誘致、④第1回アジア・太平洋水サミットについて審議した。

審議した議題のうち、IWA アジア地区会議の結果を踏まえて計画される活動に対応すべく情報収集を続ける旨、2012年 IWA 世界会議誘致には水道事業者の立場で可能な協力を行う旨、2011年 IWA-ASPIRE 地



域会議の誘致を検討する事業体は事務局に連絡する旨、アジア太平洋水サミット開催内容等の情報収集を続ける旨を決定した。

第3回調達方式検討小委員会（3月27日）

議題「調達方式検討小委員会報告書」を上程し、各委員が分担して執筆した内容について報告があった。報告内容についてそれぞれ審議し、次回小委員会に向けて修正を行うこととなった。

第32回 ISO 審査登録センター・判定委員会（3月28日）

五月女設備工業株式会社のサーベイランスの審議し、品質マネジメントシステムが JIS Q 9001:2000/ISO 9001:2000規格要求事項に適合していると判定した。

第33回 ISO 審査登録センター・判定委員会（3月28日）

スズキ鋳鉄工業株式会社の更新審査の審議し、品質マネジメントシステムが JIS Q 9001:2000/ISO 9001:2000規格要求事項に適合していると判定した。

ISO9001登録証授与式（3月29日）

第31回 ISO 審査登録センター・判定委員会（2月27日開催）において、東京都水道局三郷浄水場の初回審査は JIS Q 9001:2000/ISO 9001:2000規格要求事項に適合していると判定され、本会 ISO 審査登録センターに登録された。これに伴い登録証の授与式が東京都水道局三郷浄水場で執り行われた。



第608回抄録委員会（4月12日）

本誌7月号に掲載する抄録の内容について審議した。

JIS マーク表示制度認証授与式（4月12日）

第7回 JIS 製品認証業務判定委員会（3月8日）にてイナバゴム(株)及び(株)森清化工の初回審査適合性に関わる判定について、それぞれ適合となり、JIS 製品認証業務判定委員会マーク表示制度認証授与式が行われた。

